



TITLE:

# 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 78

AUTHOR(S):

---

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 78. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1959, 78: 69-74

ISSUE DATE:

1959-03-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186787>

RIGHT:

# 京都大学瀬戸臨海実験所振興會

## 水族館月報

No. 78

1959. 2月 (3月5日)

### 録 辛

1月以來入館者数は急増の一途を辿り、今月は選等を目前にひかえているせいだ団体客が先月の2倍を越える盛況であった。

1月にできあがったポンプ室が周囲の景観に対していささか目障りの感もあるので、その周囲に適をこみさして整備に着手した。貯水槽の山の崖崩れを修理して、山へ登る路を改修した。

2月27日京都で開催されたUNESCO国内委員会1959年度研究計画の打合せ会で今年も引き続き研究費がほぼ同額実験所に援助されることに決定されたので、本年も相変わらず田辺秀の調査は多忙をさわめることだろう。

## 業 務 概 況

### ◎ 2月の入場者数

区 分	水族館発売数		明光バス発売数		合 計	
	本月分計	累 計	本月分計	累 計	本月分計	累 計
大 人	7891	76261	19637	170686	27578	246947
小 人	161	6274	113	5159	274	11433
団 体	17077	146906	—	—	17077	146906
合 計	25129	229441	19800	175845	44929	405286
無料入場者	京都工芸繊維大学学生他				104	1313

団 体 : 一般 187組, 学生 4組 計 191組

### ◎ 2月の事業収入

(今年度累計)

観覧券売上金	837,664	7,348,054
予金預立金利子	—	446,169
雑 収 入	395	25,560
魚 类 拂 下	2,050	10,990
絵はがき拂 下	8,380	124,380
計	848,489	7,955,153

### ◎ 2月の支出

#### 水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	72795	1,025,802	
会 議 費	—	64,582	
備 品 費	—	89,820	
消 耗 費	7,378	161,965	
爭 業 費	68,698	707,522	
維持 費	6,720	111,427	海水漏れ直し, 配電板取付
其 他 諸 費	3,885	51,374	
預 立 金	170,680	539,143	
合 計	330,156	8,066,302	

実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
研 究 費	—	120,000	
奨 学 金	8,000	88,000	
備 品 費	75,500	514,195	標牛棚、図書
消 耗 費	—	56,100	
刊 行 費	280,770	498,304	Publ. Vol. 7, No. 1 刊行
役 務 費	—	—	
合 計	364,270	1,276,599	

博物館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	274,600	307,975	原田研究員旅費
備 品 費	26,000	77,020	貝標本
消 耗 費	—	24,645	
役 務 費	—	8,030	
合 計	534,600	417,670	

娯 時 費

支出なし

支出合計

(今年度累計)

水族館経費	330,156	8,066,302
実験所経費	364,270	1,276,599
博物館経費	534,600	417,670
娯 時 費	—	1,198,610
計	747,886	10,959,181

◎ 2月末現在高

前月からの繰越	783,199
今月の収入合計	848,489
今月の支出合計	747,886
現 在 高	883,802

◎ 前年度との比較

	1958	1959	増	減
入場券数	35695	44929	+	9234
売上金	669709	837664	+	167955
支出金	749191	747886	-	1305

水族館記事

- ◎ 2月5日夜、大水槽の給水管に塵がふさがって換水装置が悪くなり、ドチザメ、シロザメ、ツルギエ、イシタイ、クロアナゴなど大型の魚類を斃死させた。
- ◎ 昨年或は一昨年の2月に比して、各旬間平均水温、水温共におよそ2℃も高く、水槽水温が14℃を割ったのは僅かに2日と言う有様で、越冬振りを発揮している。
- ◎ 其の故か上記の事故を除いては、水槽内の魚類の變動は殆んどなかった。
- ◎ 冬の象徴ともいふべきタカアシガニが2日南部の漁師の底延縄に依り拘獲され入槽した。其の巨大な体躯と脚はお客を驚かせている。抱卵中の♀であった。
- ◎ ヤワラカゼ1個体8日入槽。東白浜地先で採れた由。数日を経て衰弱してきたので、固定して博物館に保存した。
- ◎ オオアカヒトデ1個体9日入槽。
- ◎ 2月27日現在、観覧水槽に収容飼育中の動物は総計129種、700個体以上に上る。その内訳は下記の通り。

海綿類	1種	海トサカ類	2種	ヤギ類	2種
海エラ類	1種	磯ギンチャク類	6種	石サンゴ類	6種
角サンゴ類	1種	花ギンチャク類	1種	多毛類	1種
カブトガニ類	1種	エビ類	8種	ヤドカリ類	3種
カニ類	14種	アメフラシ類	2種	二枚貝類	3種
巻貝類	11種	イカ類	1種	海シタ類	1種
ヒトデ類	2種	ウニ類	9種	ナマコ類	3種
軟骨魚類	6種	硬骨魚類	41種	カメ類	3種

## 博 物 館 記 事

- ◎ 2月8日水族館に入ったヤウラカゼが死亡したので、標本として博物館に展示することにした。
- ◎ 2月12日パラオ諸島東北側で採れたという珍奇な南洋タカラの逸品を購入した。

### 資 料

- ◎ 2月の気象 (9時観測)
- 南水槽室 (水温比重はN.O.25水槽)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数(12)	4	3	5
室 温(°C)	$\frac{15.3 \sim 9.4}{12.7}$	$\frac{18.3 \sim 7.2}{14.3}$	$\frac{15.0 \sim 9.7}{11.8}$
水 温(°C)	$\frac{15.98 \sim 14.03}{15.21}$	$\frac{17.55 \sim 13.23}{16.13}$	$\frac{17.27 \sim 14.15}{15.53}$
比 重(0.15)	$\frac{25.83 \sim 25.36}{25.57}$	$\frac{25.75 \sim 20.90}{24.91}$	$\frac{25.65 \sim 24.96}{25.38}$

#### 取入口

水 温(°C)	$\frac{16.62 \sim 15.13}{15.65}$	$\frac{17.95 \sim 13.92}{15.68}$	$\frac{17.51 \sim 14.45}{15.52}$
比 重(0.15)	$\frac{25.75 \sim 25.39}{25.62}$	$\frac{25.75 \sim 24.24}{25.26}$	$\frac{25.69 \sim 24.73}{25.40}$

### 来 訪 録

2月23日 横浜国立大学教授酒井恒博士(カニ類の採集及び研究)及び日享スタジオ部長角館喜信氏(水族館における各種水族の生態写真撮影)。

昭和34年3月5日 (NO. 78)

編集兼  
発行者

内 海 富 士 夫

発行所

瀬戸内海温泉  
和可山温泉  
瀬戸内海温泉  
(Tel. 白浜温泉 515)